

第 104 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 16 年 11 月 18 日(木) 13:00～14:30
場 所 アンリツ株式会社厚木事業所 R&D 館 2 階ゲストルーム
出席者 委員長 関根(防衛大)
委 員 伊澤(菊水電子)、内田(電通大)、大木(日電検)、大谷(アンリツ)、
小野(日本大)、廣瀬(産総研)
幹 事 作本(日電検)
幹事補佐 白井(日電検)

議 事

1. 議事録の確認。

- ・p.1 「第 102 回」を「第 103 回」に、p.2 「平成 17 年 2 月」を「平成 17 年 8 月」に訂正した後、承認された。
- ・平成 17 年 A 部門大会は 8 月 22 日～23 日に日本大学で開催される。担当は、日本大学の関根好文先生並びに作田委員である。
- ・平成 18 年 6 月の英文特集号への投稿をお願いする。

2. 運営委員会報告(11 月 9 日開催分)

関根委員長より以下の報告があった。

イ. 調査専門委員会の解散(5 件)および新設(4 件)が承認された。

[解散]

- ・超微細リソグラフィ技術調査専門委員会 (光応用・視覚技術委員会)
- ・プリント配線板の絶縁劣化および耐サージ性調査専門委員会 (誘電・絶縁材料技術委員会)
- ・生体内物質・機能に関する磁気効果調査専門委員会 (マグネティックス技術委員会)
- ・パワー用磁性材料の高度利用技術調査専門委員会 (マグネティックス技術委員会)
- ・電気技術等の先達からの聞き取り調査専門委員会 (電気技術史技術委員会)

[新設]

- ・イオンマイグレーションの発生特性と防止方法調査専門委員会 (誘電・絶縁材料技術委員会)
- ・電力用磁性材料活用技術調査専門委員会 (マグネティックス技術委員会)
- ・戦後電気技術における技術革新要因調査専門委員会 (電気技術史技術委員会)
- ・技術交流の歴史に関する国際研究調査専門委員会 (電気技術史技術委員会)

ロ. 技術委員会について

- ・技術委員会の中期(6年程度)ビジョンの見直しに向け、各技術委員会の活動方針などを記載した設置趣意書を新たに作成する。
- ・作成した設置趣意書は、運営委員会において次回(平成17年3月)から順次報告する。

ハ. 優秀論文発表賞について

- ・優秀論文発表賞の割当てが決定した。計測技術委員会の配分は1名で、1月14日までに運営委員会の井上幹事に報告する。なお、表彰はA部門大会で行われる。

ニ. 電気学会正員について

- ・A部門の正員が減少している。平成6年の5000人から減少し、現在は約3800人である。学生会員の正会員への勧誘や各種委員会の正員率の向上に努めて欲しい。

3. 平成17年度活動計画並びに計測研究会開催二次案

作本幹事より、平成17年度活動計画並びに計測研究会開催二次案について説明があった。

- ・新設の調査専門委員会は2件を予定する。
- ・7月の計測研究会はテーマを「遠隔計測」とする。
- ・佐賀大学で開催される「計測一般」は10月上旬の開催を、「時間・周波数」は平成18年2月の開催を予定する。
- ・東京支部連合研究会は参加する方向で進めたい。また、11月の「光応用」は地方開催を予定する。

4. 平成16年度活動状況

作本幹事より平成16年度活動状況について説明があった。

- ・12月に開催される「生体計測」の研究会は1件欠番となった。したがって、平成16年の計測研究会における発表件数は73件である。
- ・3月開催する「磁気応用計測」は広島での開催を予定する。

委員会終了後、アンリツ株式会社 厚木事業所の見学を行った。

次回予定

日 時 平成17年1月21日(金)

場 所 未定